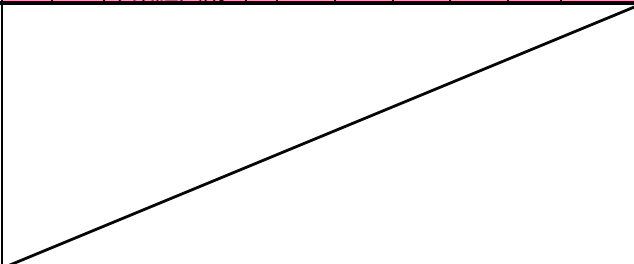
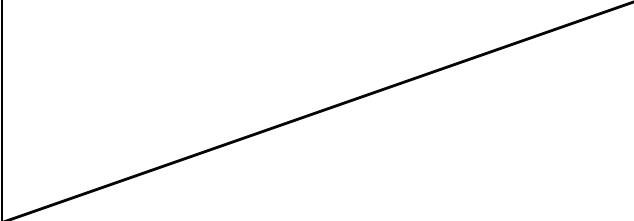


平成24年度千葉県高等学校バスケットボール新人大会ピリオドスコア

【1月20日(日)】

| GN | Team | No | Name | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | OT | Total | GN | Team | No | Name | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | OT | Total |
|-------|---|----|-------|----|----|----|----|----|-------|-------|---|----|-------|----|----|----|----|----|-------|
| A1 | A | 1 | 昭和学院 | 27 | 15 | 17 | 21 | | 80 | B1 | A | 27 | 千葉英和 | 16 | 13 | 12 | 19 | | 60 |
| | B | 26 | 市立船橋 | 12 | 7 | 22 | 16 | | 57 | | B | 52 | 千葉経大附 | 4 | 9 | 16 | 16 | | 45 |
| 女子準決勝 | <p>昭和学院は高さを生かし#8、#12のインサイドで得点を重ねる。市立船橋はゾーンディフェンスを駆使するが、インサイドを止められず前半を42-19で折り返す。市立船橋はスピードを生かしドライブを試みるが、ゴール下でブロックされ思うように攻められない。後半追撃を狙う市立船橋に対し、攻守ともにゴール下を制した昭和学院が80-57で勝利し決勝進出を決めた。</p> | | | | | | | | | 女子準決勝 | <p>英和、チェンジングディフェンス、千葉経済マンツーマンでスタート。英和の堅いディフェンスが光り経済が攻めあぐむすきに英和は#5を中心に加点し10を大きくリードで終える。2Qも英和の変幻自在のディフェンスに経済はリズムを狂わされなかなかゴールネットを揺らすことができない。ディフェンスからリズムを作る英和は#5がインサイド、アウトサイドと縦横無尽に力強いプレーで着々と得点を重ね29-13英和リードで前半を終える。3Q、経済はようやく持ち味の粘り強いディフェンスからブレイクで食らいつき41-29と4Qに望みをつなく。4Q追い上げムードの経済に対し、英和は連続3Pで突き放す。経済はオールコートでトラップを仕掛け巻き返しを図るが英和は落ち着いてこれを振り切り決勝へ駒を進めた。</p> | | | | | | | | |
| A2 | A | 13 | 八千代松陰 | 21 | 9 | 17 | 12 | | 59 | B2 | A | 27 | 柏日体 | 29 | 14 | 16 | 18 | | 77 |
| | B | 26 | 幕張総合 | 30 | 23 | 23 | 12 | | 88 | | B | 52 | 市立船橋 | 15 | 24 | 32 | 24 | | 95 |
| 男子準決勝 | <p>序盤から双方速いトランジションゲームを展開。始め堅さも見えたが、両チーム3分過ぎから点の取り合いとなる。松陰は#4、#11の3Pを中心に流れを作ると幕張は#4、#6、#8のドライブで加点する。5分過ぎ#4の連続ドライブで幕張が均衡を破ると連続得点で主導権を握る。2Q、松陰はゾーンに変え打開を図るが、なかなか幕張のディフェンスを崩せず粘れない。逆に幕張#8の外角で加点され、ディフェンスをマンツーマンに戻すが幕張の猛攻を止められず前半で23点差と差が広がってしまう。後半に入ってもゲームの流れは変わらず、タイムアップ。幕張総合が圧倒的な強さを見せて危なげなく決勝進出を決めた。</p> | | | | | | | | | 男子準決勝 | <p>前半立ち上がり、柏日体は#4、#5らの思い切りの良いシュートがよく決まりリードを奪う。一方、堅さの見られた市立船橋だったが、2Qに入りプレッシャーディフェンスで積極的に仕掛け攻撃のリズムが良くなり追撃を開始する。詰め寄せられた形になったが、序盤にリードした柏日体が4点リードで終了した。後半に入っても市立船橋はプレッシャーの強いディフェンスと高さのあるリバウンドからの速い展開で着実に加点し徐々に点差をつけていく。#7ら長身選手がゴール下を支配。地力に勝る市立船橋が柏日体の追撃を振り切り決勝進出を決めた。</p> | | | | | | | | |
| A3 | A | 1 | 昭和学院 | 10 | 21 | 29 | 12 | | 72 | B3 | A | 26 | 市立船橋 | 16 | 19 | 15 | 20 | | 70 |
| | B | 27 | 千葉英和 | 13 | 6 | 10 | 11 | | 40 | | B | 52 | 千葉経大附 | 19 | 18 | 20 | 28 | | 85 |
| 女子決勝 | <p>昭和はマンツーマン、英和は2-1-2ゾーンとマンツーマンのチェンジングディフェンスでスタート。昭和は#12にボールを集め高さを生かしたインサイドプレーで加点する。対する英和は昭和の長身選手をおびき出し、#13の3Pで応戦する。ほぼ互角の展開で1Qを終える。2Q、昭和は変化する英和のディフェンスに冷静に対応すると、#12のインサイド、#8のアウトサイドと加点しリードを広げる。後半に入りさらにプレッシャーを強める昭和は、#9が良いリードを見せ、他の4人がのびのびシュートを放つ。英和も#7のドライブなどで応戦するが、差は開く。4Q、英和の追撃を突き放し72-40で試合終了。ウィンターカップを経て一段と実力が増した千葉県王者、昭和学院が新チーム初の新人大会で他のチームを圧倒し、2年連続32回目の優勝を果たした。</p> | | | | | | | | | 女子3決 |  | | | | | | | | |
| A4 | A | 26 | 幕張総合 | 16 | 17 | 17 | 12 | | 62 | B4 | A | 13 | 八千代松陰 | 18 | 16 | 18 | 12 | | 64 |
| | B | 52 | 市立船橋 | 27 | 30 | 27 | 29 | | 113 | | B | 27 | 柏日体 | 19 | 14 | 19 | 26 | | 78 |
| 男子決勝 | <p>試合開始から市立船橋が高さとスピードで圧倒した。幕張総合は4分間得点を挙げられず苦しい展開。#15と途中交代出場の#17の得点で追撃を図るが、27-16市船リードで1Q終了。2Qも手を緩めない市船は#4、#12を中心に得点を伸ばし57-33で前半終了。3Q市立船橋#7がゴール下を制圧、幕張総合も#15、#17が得点を挙げると84-50と差は広がる一方の展開となる。4Qも市立船橋の#7のゴール下、ミドルのシュートがよく決まり大差で優勝を決めた。最後まで全力を尽くした両校の検討を講えたい。</p> | | | | | | | | | 男子3決 |  | | | | | | | | |